

アレルギー物質を含む食品の 原材料表示に関する調査研究

兵庫県立生活科学研究所研究報告第 19 号 (2004) 別刷

Reprinted from REPORT OF THE CONSUMER SCIENCE RESEARCH INSTITUTE
OF HYOGO PREFECTURE No.19 2004

アレルギー物質を含む食品の原材料表示に関する調査研究

井上 貴世子 木村 晶子 前田 良將 岡村 佳高

Research on the labeling of foods containing allergens

Kiyoko INOUE Akiko KIMURA Yoshimasa MAEDA Yoshitaka OKAMURA

1 はじめに

食物に含まれる成分で過敏な免疫反応が起きることを『食物アレルギー』と言う。

症状としては、「じんま疹」「湿疹」などの皮膚症状、「下痢」「嘔吐」「腹痛」などの消化器症状、「鼻」「眼」などの粘膜症状、「咳」「呼吸困難」などの呼吸器症状などがある。最も激しいショック症状は「アナフィラキシー」と呼ばれ、全身発赤、呼吸困難、血圧低下、意識消失などを起こし、対応が遅れると死に至る場合もある。人によっては舐める程度のごく微量のアレルギー物質でも、アナフィラキシーを発症することがある。

近年、乳幼児から成人に至るまで、特定の食物を食べることが原因で食物アレルギーを起こす人が増えている。平成9年度に厚生省（現厚生労働省）が行った調査では、表1のとおり7.3%の人が何らかの食物アレルギーもっていることがわかった。

表1 アレルギー症状を呈する割合

	対象 (人)	経験者 (%)
3 歳	3,036	8.6
小学1年生	4,557	7.4
小学5年生	4,775	6.2
中学2年生	4,234	6.3
成人	3,132	9.3
計	19,734	7.3

こうした背景をもとに、食品衛生法や関連する法律が改正され、平成14年4月1日以降に製造、加工、

輸入された加工食品で、アレルギー物質を含む食品については、その原材料が表示されることになった。

アレルギー症状をおこす食物のうち、特に頻度が高い「卵」「小麦」「乳」と、生命に関わる重い症状を起こすことがある「そば」「落花生」の5品目は、特定原材料として表示が義務づけられている。また、それに準ずる19品目は可能な限り表示をすることが推奨されている(表2)。

表2 表示が必要となった原材料

特定原材料(5品目) <発症数、重篤度から勘案して表示する必要性の高いもの>	特定原材料に準ずるもの(19品目) <過去に一定の頻度で重篤な健康危害が見られているもの>	
義務表示…省令	推奨表示…通知	
<発症数が多いもの> 卵、小麦、乳	魚介類	あわび、いか、いくら、えび、かに、さけ、さば
	果物	オレンジ、キウイフルーツ、もも、りんご
<症状が重篤なもの> そば、落花生	肉類	牛肉、鶏肉、豚肉
	その他	くるみ、大豆、まつたけ、やまいも、ゼラチン

本調査は、今後のアレルギー表示のあり方を考えるため、「食品のアレルギー物質の表示」に対する認知度や考え方についてアンケート調査を行うとともに、参考として、魚肉練り製品や食肉加工品の結着剤として使用された卵・小麦（アレルギー原因物質）の表示漏れや製造工程における商品残渣の混入がないかを確認するための検出試験を行った。

2 方法

2.1 アンケート調査

2.1.1 調査対象

兵庫県内の病院（16カ所）の皮膚科、小児科の外来患者 1,000人

表3 調査票の配布を依頼した16病院

・神戸市立中央市民病院	・神戸市立西市民病院
・兵庫県立尼崎病院	・兵庫県立塚口病院
・西宮市立中央市民病院	・宝塚市立病院
・伊丹市立伊丹病院	・三田市民病院
・明石市立市民病院	・兵庫県立加古川病院
・高砂市民病院	・三木市民病院
・西脇市立西脇病院	・加西市立加西病院
・兵庫県立柏原病院	・兵庫県立淡路病院

2.1.2 調査時期 平成15年3月

2.1.3 調査方法

病院の医師に依頼し、診察のときに調査票を手渡してもらい、郵送で回収した。

2.1.4 回収票 270票（回収率27.0%）

2.1.5 調査項目

- ・食物アレルギーに関する認識
- ・食物アレルギーの有無と症状、頻度、原因
- ・アレルギー物質表示に対する認知度、意見等
- ・フェースシート（性別・年齢・居住地・世帯人数・診療を受けた科）

2.2 魚肉練り製品・食肉加工品中の卵・小麦検出試験

2.2.1 対象品目

魚肉練り製品16点、食肉加工品6点 計22点
結果一覧（表7・表8）の商品No.1～12とNo.17～18は量販店で購入した大手食品メーカーの商品であり、すべて個包装ないし一括包装されていた。No.13～16とNo.19～22は市場内の小売店が製造販売している商品で、いわゆる「ばら売り商品」であるが、No.13～16は個包装されていた。

2.2.2 実施時期 平成15年3月～5月

2.2.3 試験方法

「アレルギー物質を含む食品の検査法（厚生労働省平成14年11月6日付食発第1106001号）に基づく酵素免疫法（ELISA法）により、スクリーニング試験を行い、判断樹（参考資料5）による判定を行った。

3 結果と考察

3.1 アンケート調査

3.1.1 回答者の属性

(1) 性別

回答者の93.0%が女性である。

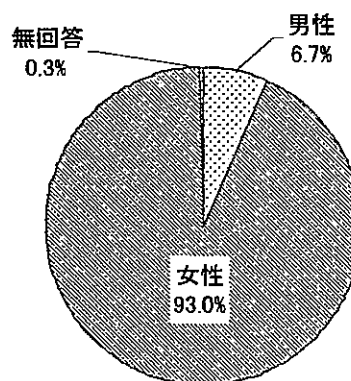


図1 回答者の性別 (N=270)

(2) 年齢

30歳代が41.5%で最も多い。

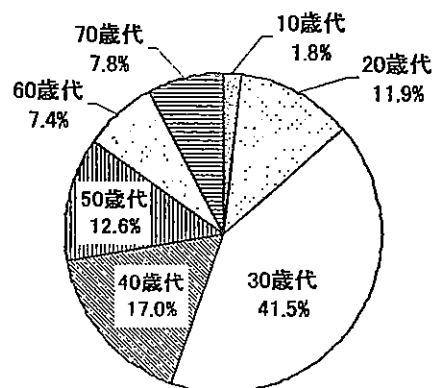


図2 回答者の年代 (N=270)

(3) 居住地

神戸・阪神・東播磨で8割を占めている。

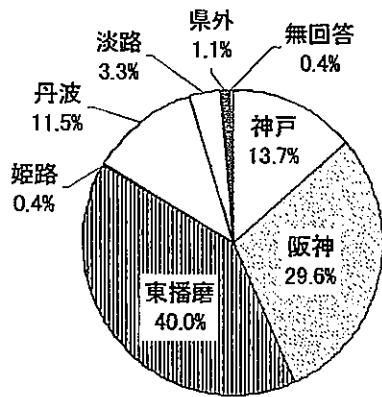


図3 回答者の居住地 (N=270)

(4) 世帯人数

世帯人数は3人、4人が中心となっている。

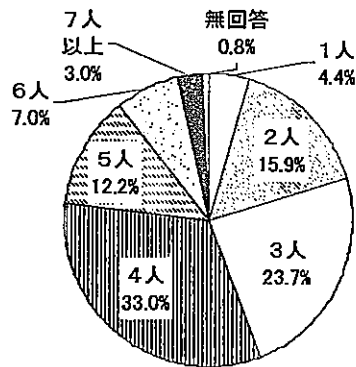


図4 世帯人数 (N=270)

(5) 診療を受けた科と理由

診療を受けた科は皮膚科 67.1%、小児科 32.2%で、そのうちアレルギー疾患で受診した人は両科合わせて 32.9%である。

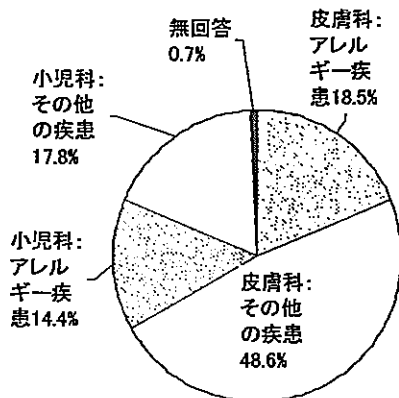


図5 受診した科と理由 (N=270)

3.1.2 食物アレルギーに対する認識

(1) 認知度

日常よく食べるもので、食物アレルギーになることは、ほとんどの人が知っていた。

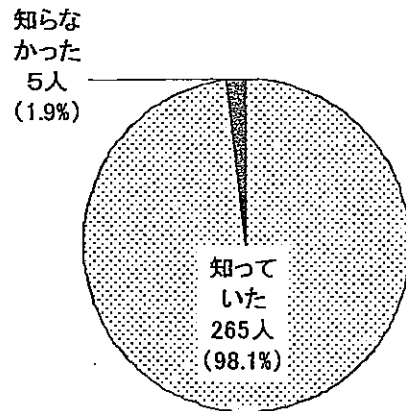
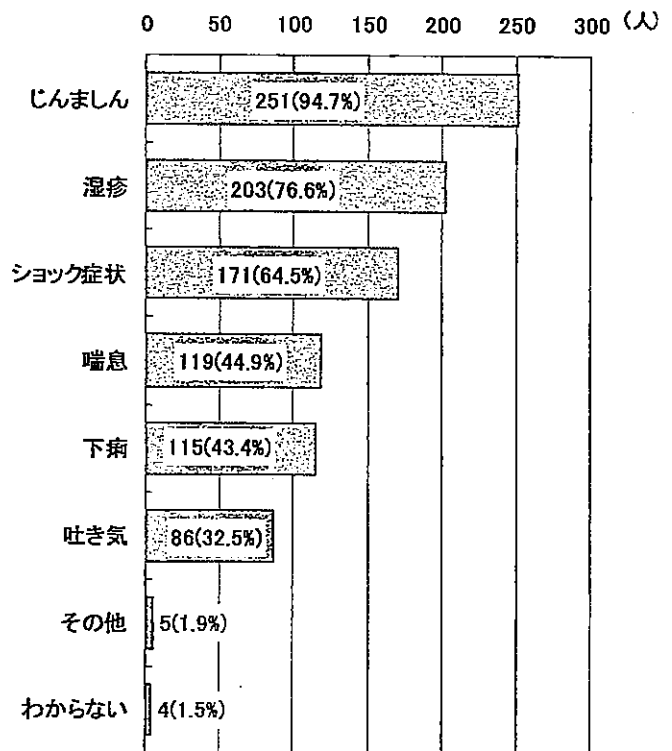


図6 食物アレルギーに対する認知度 (N=270)

(2) 症状に対する認識

食物アレルギーはどのような症状があらわれるかを複数回答で尋ねたところ、「じんましん」が最も多く、次に「湿疹」、「ショック症状」が続いた。



* その他(喉のかゆみ、唇が腫れる、くしゃみ、咳)

図7 食物アレルギー症状に対する認識 (N=265)

【複数回答】

3.1.3 食物アレルギーの有無と症状

(1) 食物アレルギーの有無

食物アレルギーの有無では、「自分にあると思う」63人(23.3%)、「家族にあると思う」88人(32.6%)だった。「自分にも家族にもアレルギーがあると思う」と回答した人も30人(11.1%)いた。

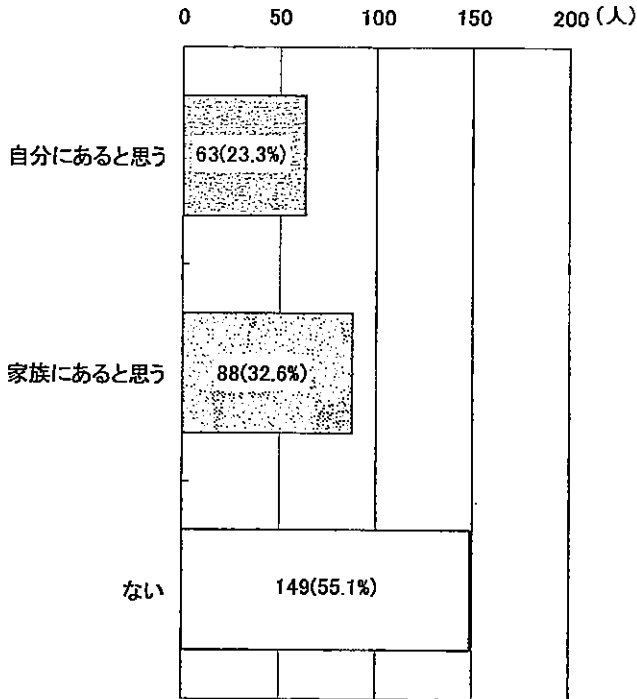
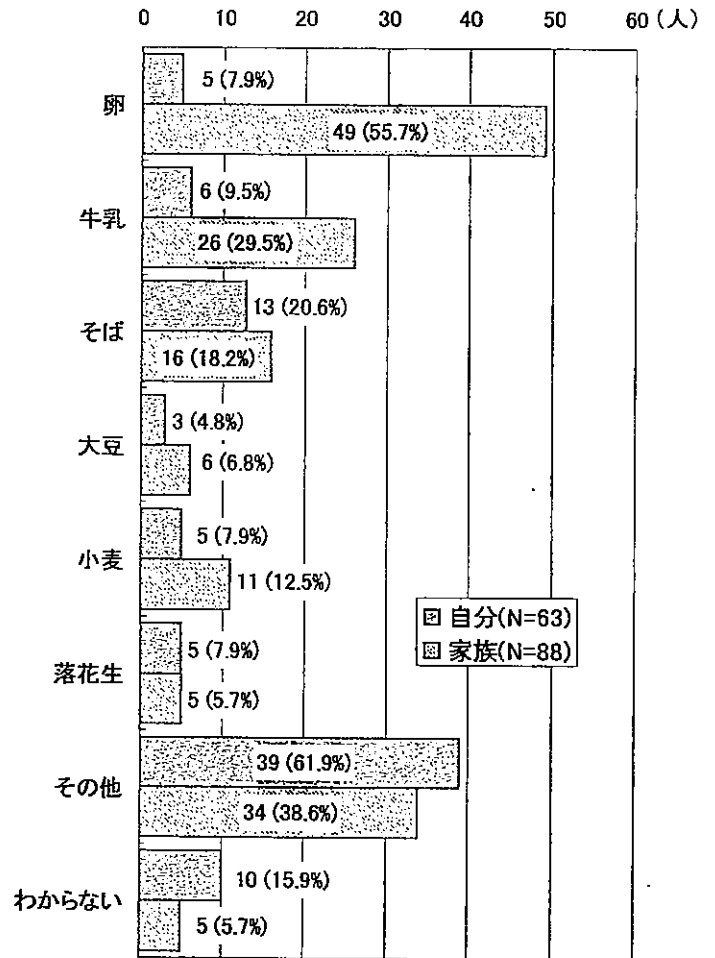


図8 食物アレルギーの有無(N=270)【複数回答】

(2) 食物アレルギーの原因

食物アレルギーの原因と考えている食物をあげてもらったところ、自分に食物アレルギーがあると思う人は、「そば」13人(20.6%)が最も多く、「エビ」8人(12.7%)、「カニ」7人(11.1%)が続いた。複数の食物が原因となる人は12人(19.0%)いた。

家族に食物アレルギーがあると思う人では、「卵」49人(55.7%)が最も多く、「牛乳」26人(29.5%)、「そば」16人(18.2%)、「小麦」11人(12.5%)と続いた。複数の食物が原因となる人は31人(35.2%)いた。



*その他(自分 39)

- エビ8 カニ7 キウイ4 サバ4 メロン4
- 山芋4 イカ3 青魚2 牛肉2 豚肉2 タコ2
- ニンニク2 鶏肉1 桃1 甲殻類1 赤魚1
- サワラ1 ウナギ1 カキ1 魚1 貝1
- アーモンド1 ヘーゼルナッツ1 イチゴ1
- イチジク1 スイカ1 とうもろこし1 タケノコ1
- 大麦1 ごま1 よもぎ1 ヨーグルト1
- チョコレート1 焼そば麺1
- 刺激物(とうがらし・カレー)1 保存料1

*その他(家族 34)

- エビ6 カニ6 山芋3 リンゴ2 キウイ2
- メロン2 バナナ2 くるみ1 鶏肉1 桃1
- イカ1 イクラ1 甲殻類1 青魚1 赤魚1
- 長芋1 タラ1 タイ1 カキ1 生魚1 貝1
- あさり1 シーチキン缶1 アーモンド1 スイカ1
- 梨1 果汁1 米1 ひえ1 よもぎ1
- タマネギ・ネギ・ニラなどユリ科のもの1
- 桜でんぶ1 保存料1 着色料1

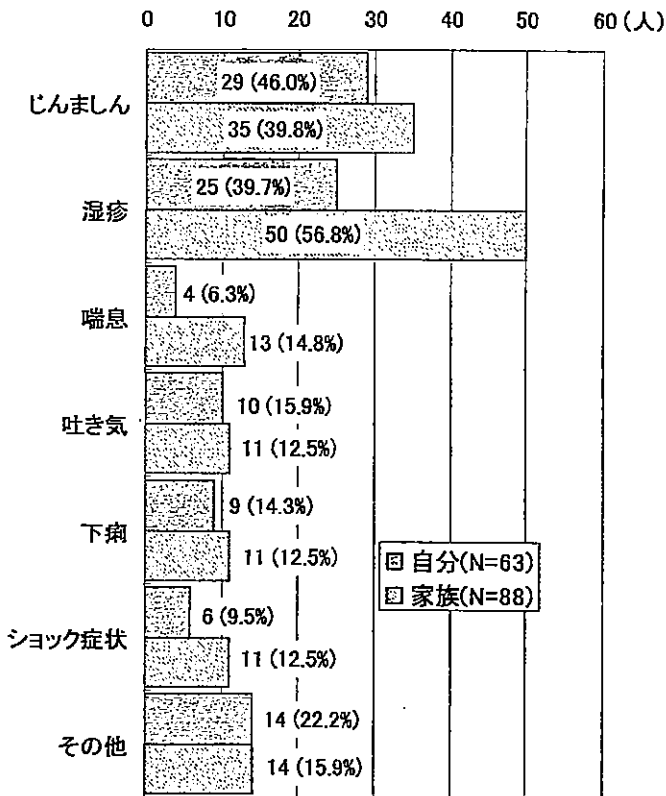
図9 食物アレルギーの原因【複数回答】

(3) 食物アレルギーの症状

自分または家族に食物アレルギーがあると思う人にあらわれる症状を尋ねた (図 10)。

自分に食物アレルギーがあると思う人は、「じんましん」、「湿疹」が多く、複数の症状をあげた人は 36.5% (23 人) いた。家族に食物アレルギーがあると思う人も、「湿疹」、「じんましん」が多く、複数症状をあげた人は 39.8% (35 人) であった。

「その他」の症状として、「喉がかゆい」「口の中がぴりぴりする・痛がゆい」と答えた人がいた。この症状は、食物アレルギーの玄関口となる初期症状として最近、注目されている。



* その他 (自分 14)

- 喉がかゆい 6 口の中がぴりぴりする・痛がゆい 2
- 口が腫れる 1 かゆみ 2 かゆみの後、皮膚の色素が抜け、色がまだらになる 1 腹痛 2 頭痛 1
- 気分が悪い 1 顔・手足が腫れる 2
- 目鼻喉などの粘膜が腫れる 1

* その他 (家族 14)

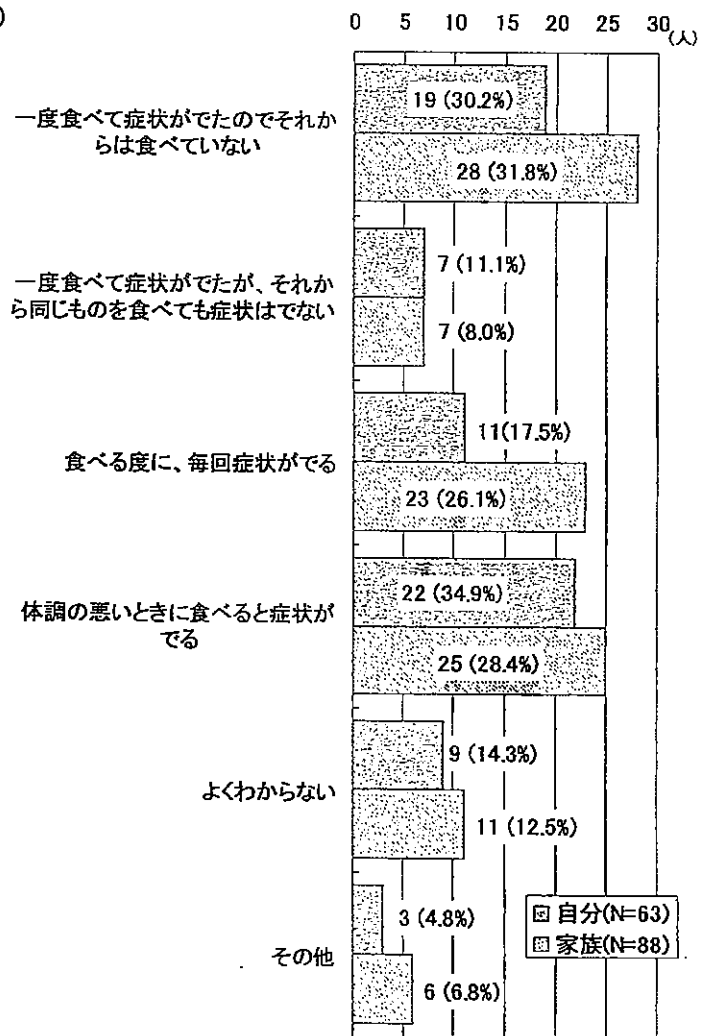
- 喉がかゆい 5 口唇が腫れる 2 くしゃみ・咳 1
- かゆみ 1 腹痛 1 呼吸困難 1
- 顔色が悪くなり気分が悪い 1 何となく体調が悪い 1

図 10 食物アレルギーの症状【複数回答】

(4) 食物アレルギーが起こる頻度

食物アレルギーが起こる頻度では、自分にアレルギーがあると思う人は、「体調の悪いときに食べる」と症状がでる 34.9% (22 人) と「一度食べて症状がでたのでそれからは食べていない」30.2% (19 人) が 3 割を超えた。

家族にアレルギーがあると思う人では、「一度食べて症状がでたのでそれからは食べていない」31.8% (28 人) が多く、「体調の悪いときに食べる」と症状がでる 28.4% (25 人)、「食べる度に毎回症状がでる」26.1% (23 人) が続いた。



* その他 (9)

- 数回食べて症状がでたので食べていない 3
- 血液検査で反応がでたので一度も食べさせていない 3
- 母乳で症状がでたので食べさせていない 1
- 食べ過ぎるとなる 2

図 11 食物アレルギーが起こる頻度

(5) アレルギー症状がでた食品・料理

アレルギー症状がでる食品や料理について、何が原因かわかっている人が多いが、わからない人も自分アレルギーがあると思う人で 19.0% (12 人)、家族にアレルギーがあると思う人で 13.6% (12 人) いた。

具体的にあがった食品・料理は、表 4 のとおりである。

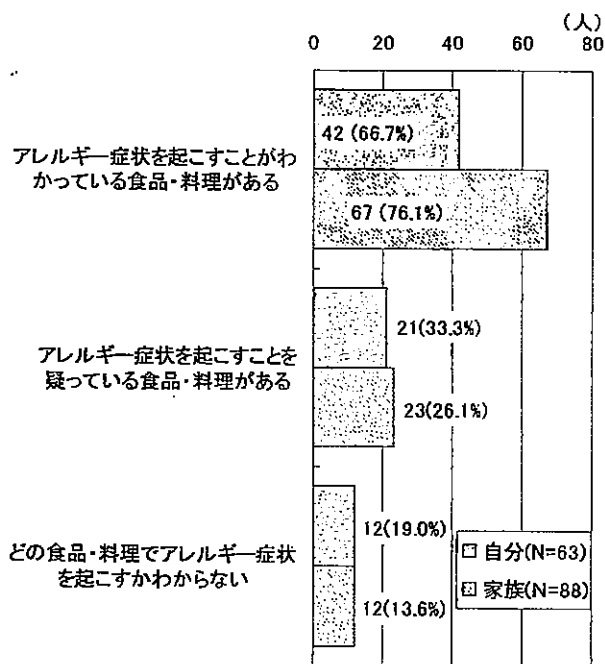


図 12 アレルギー症状がでた食品・料理の認知

【複数回答】

表 4 アレルギー症状がでた食べ物

アレルギー状況	認知状況	食べ物
自分にアレルギーがある	わかっている食べ物	そば 11 エビ料理 (寿司・煮付け・天ぷら・カレーなど) 8 カニ料理 5 サバ料理 (煮付け・塩焼き) 7 サバ料理 (煮付け・塩焼き) 7 山芋 (山かけ) 5 メロン 4 キウイ 3 青魚 2 ニンニク料理 2 牛肉料理 1 豚肉料理 1 卵料理 1 牛乳 1 パン 1 ハンバーグ 1 ハム 1 ベーコン 1 ソーセージ 1 カキ (生牡蠣など) 1 鮭 1 貝類 1 うなぎ 1 イカ (刺身) 1 赤魚 (煮付け) 1 タケノコ 1 ヨモギ 1 スイカ 1 桃 1 アーモンド 1 ヘーゼルナッツ 1 フライ 1 酸化防止剤入りのメロンパン 1 巻きずし 1 韓国冷麺 1 レトルトのインスタント食品 1
	疑っている食べ物	卵料理・生卵 3 カニ料理 3 牛肉料理 2 鶏肉料理 2 貝類 2 タコ 2 タケノコ 2 パン 1 小麦を使ったもの 1 ヨーグルト 1 落花生 1 アワビ 1 イカ 1 イクラ 1 鮭 (缶詰) 1 鯖 (刺身) 1 きなこ 1 豚肉料理 1 魚肉ソーセージ 1 魚料理 1 かまぼこ 1 ちくわ 1 キムチ 1 キュウリ 1 イチゴ 1 トマト 1 ニンニク料理 1 ホウレン草 1 水菜 1 ケーキ 1 シュークリーム 1 チョコレート 1 パパロア 1 ごま 1 ゼリー 1 焼きそば 1 ラーメン 1 スーパーの総菜 1
家族にアレルギーがある	わかっている食べ物	卵 (生卵・卵白・卵黄・授乳中に母が食べた卵・卵焼き・ゆで卵・加工品など) 29 牛乳 13 そば 9 乳製品 4 カニ料理 (クリームコロッケ、カニすきなど) 4 小麦 3 エビ (フライなど) 3 山芋 (とろろ汁など) 3 キウイ 3 かりい 3 うどん 2 イカ 2 ピーナッツ 2 リンゴ 2 桃 2 メロン 2 ミックスナッツ 1 大豆 1 パンがゆ 1 イクラ (寿司) 1 サバ 1 長芋 (生) 1 牛肉料理 (ステーキ) 1 ハム類 1 しゅうまい 1 トンカツ 1 アサリ 1 貝類 1 冷凍赤魚の煮付け 1 シーチキン缶 1 タラ 1 ぶり 1 鯛 (ベビーフードのあんかけ) 1 てっさ 1 油を使ったもの 1 枝豆 1 醤油 1 スイカ 1 お菓子 1 カキ 1 梨 1 サクラランボ 1 パナナ 1 ヨモギ 1 どんぶり 1 ミックスジュース 1 コーヒー 1 桜でんぶ 1 ラーメン 1 なす 1 ごま豆腐 1 ソルビン酸の入っているもの 1 ユリ科のものを使った料理 1
	疑っている食べ物	そば (皿そば) 4 牛乳 2 カニ 2 大豆 2 卵 2 スイカ 2 しらす 2 茶碗蒸し 1 ポテトサラダのマヨネーズ 1 パン 1 エビ 1 鮭 1 鯖 1 鶏肉料理 1 豚肉料理 1 貝 1 カキ 1 ちくわ 1 砂糖 1 ししゃもの卵 1 パナナ 1 みかん 1 メロン 1 外食で食べた麺 (乳成分が入っていたのか?) 1 香料の強いもの 1 着色料 1

3.1.4 食品のアレルギー物質表示の認知・活用度

(1) 加工食品の成分表示を見る頻度

加工食品の成分表示を見る人（「必ず見る」「よく見る」「しばしば見る」と回答した人の合計）は、全回答者（270人）中79.2%（214人）だった。

しかし、表示を「必ず見る」人は、自分または家族に食物アレルギーがあると思う人（121人）でも35.5%（43人）しかおらず、アレルギーがない人（149人）では10.7%（16人）にとどまった。

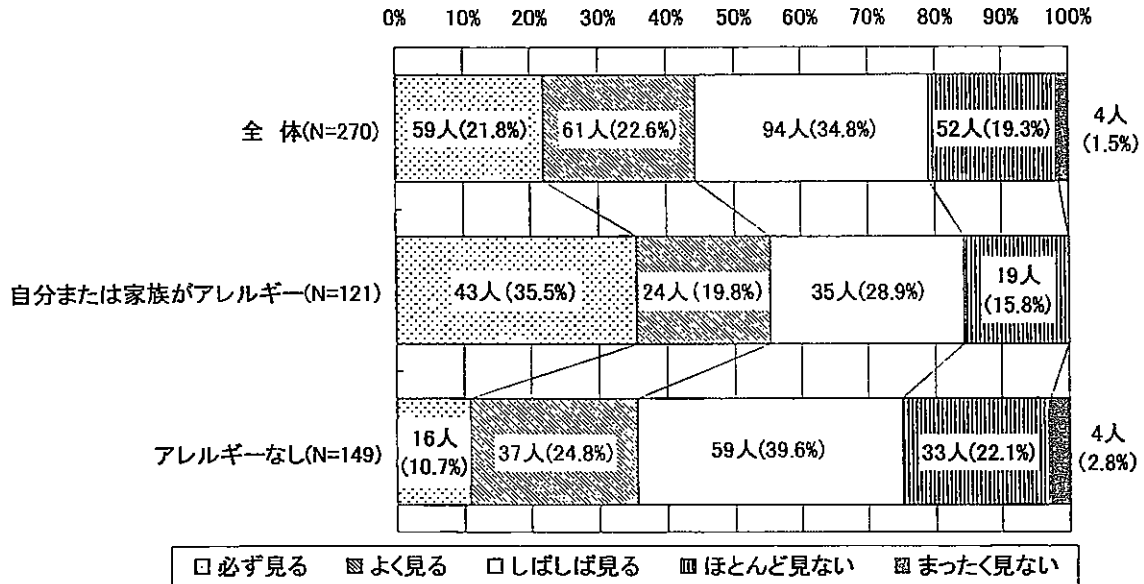


図13 加工食品の成分表示をよく見るか

(2) 成分表示を見る目的

加工食品の成分表示を見る目的は、「何でできているかを知りたいから」71.9%（194人）、「どんな食品添加物が使われているかを知りたいから」64.1%（173人）が多い。

「食物アレルギーの原因となる原材料が含まれていないかを知りたいから」以外アレルギーがある人とない人の成分表示を見る目的に大きな差は見られなかった。

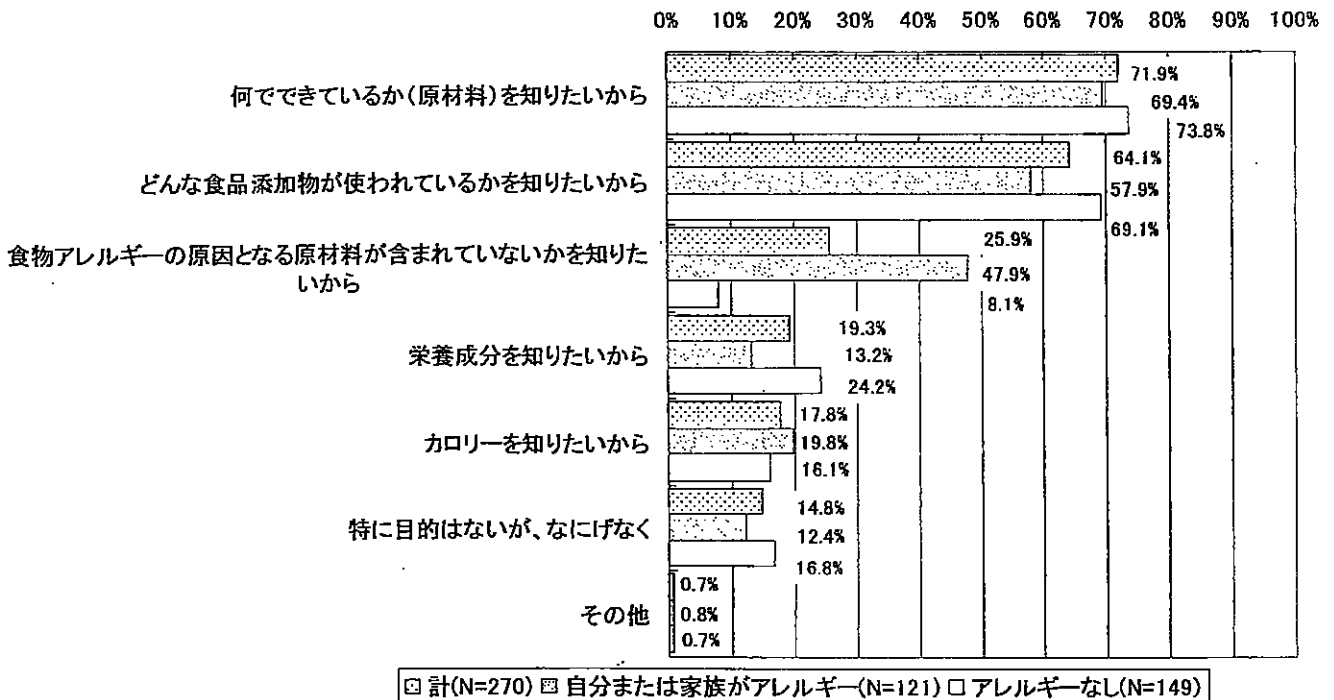


図14 加工食品の成分表示を見る目的【主なもの3つまで】

(3) アレルギー物質表示の認知度

加工食品に食物アレルギーを起こしやすい原材料を表示する制度ができたことを知っている人は全体で 41.1% (111 人)、自分または家族にアレルギー

のあると思う人で 57.0% (69 人)、アレルギーのない人では 28.2% (42 人) で、認知度は低かった。

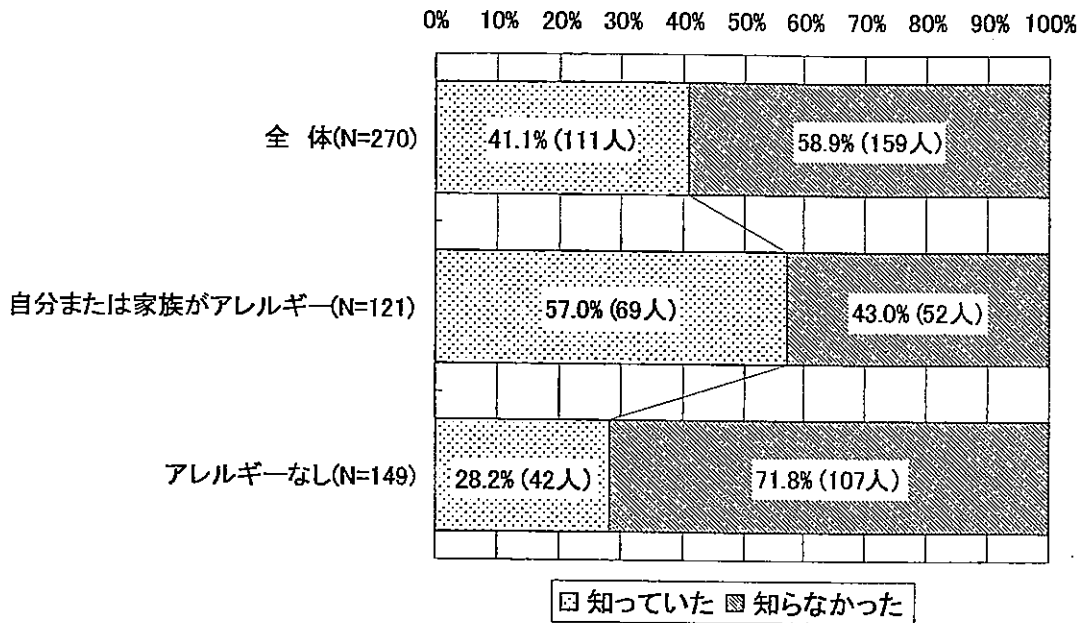


図 15 食品のアレルギー物質表示の認知度

加工食品の成分表示を見る人（「必ず見る」「よく見る」「しばしば見る」と回答した人 214 人）でも、アレルギー物質の表示制度ができたことを知って

いる人は 47.7% (102 人) と半数以下だった。

自分または家族に食物アレルギーがあると思う人でも 61.8% (63 人) だった。

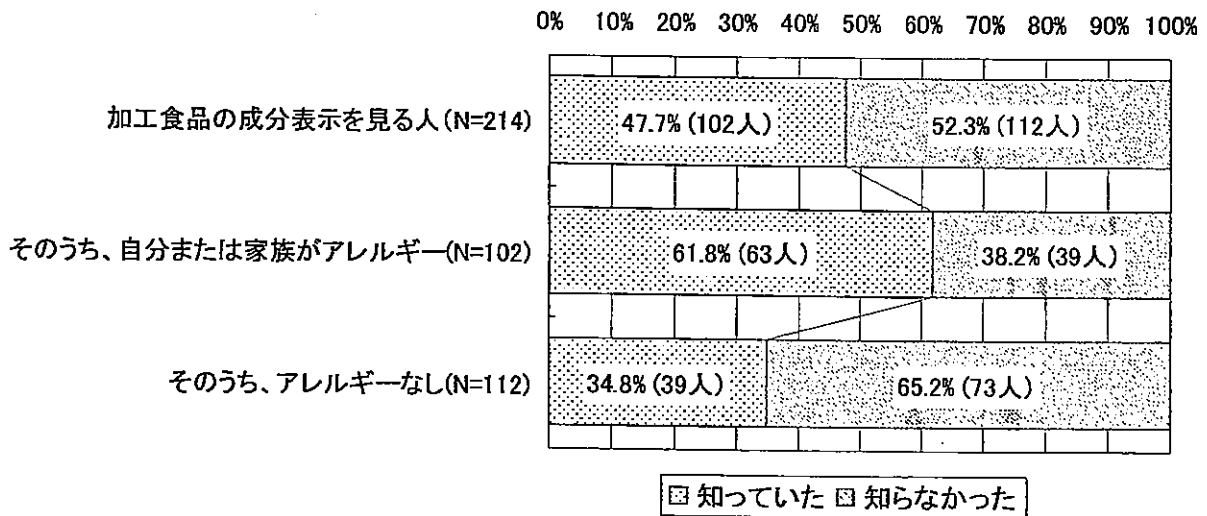


図 16 加工食品の成分表示を見る人のアレルギー物質表示の認知度

さらに、加工食品の成分表示を「食物アレルギーの原因となる原材料が含まれていないかを知りたいから」と回答した70人が、アレルギー物質の表示制度ができたことを知っているかを調べたところ、知っていた人は64.3%(45人)だった。自分または家族に食物アレルギーがあると思う人

(58人)でも32.8%(19人)は表示ができたことを知らなかった。

アレルギー物質の表示制度ができ、義務づけられている品目があるといった認識はないまま、表示を見ていることがわかる。

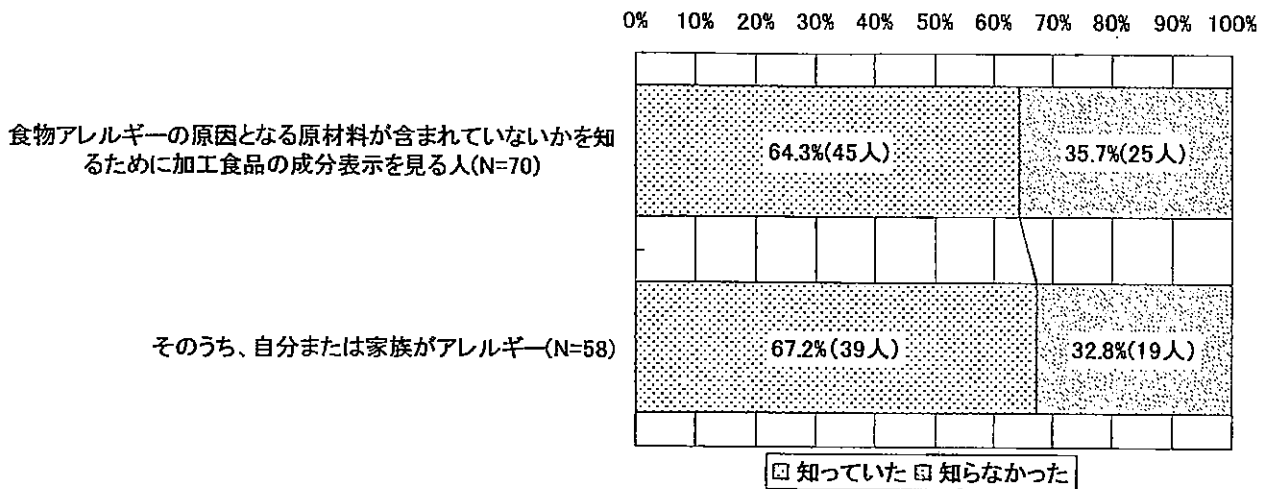


図17 アレルギー物質が含まれていないかを知るために加工食品の成分表示を見る人のアレルギー物質表示の認知度

(4) 義務表示と推奨表示の認知度

食物アレルギーを起こしやすい原材料を表示する制度ができたことを知っていた人(111人)に、表示が「義務づけられているアレルギー物質」と「推奨されているアレルギー物質」があることを知っているか尋ねた。

両方を知っていた人は全体で23.4%(26人)、アレルギーが自分または家族にあると思う人でも24.6%(17人)であった。「義務づけられているもの」は知っているが、「推奨されているもの」は知らない人が46.8%(52人)で最も多い。

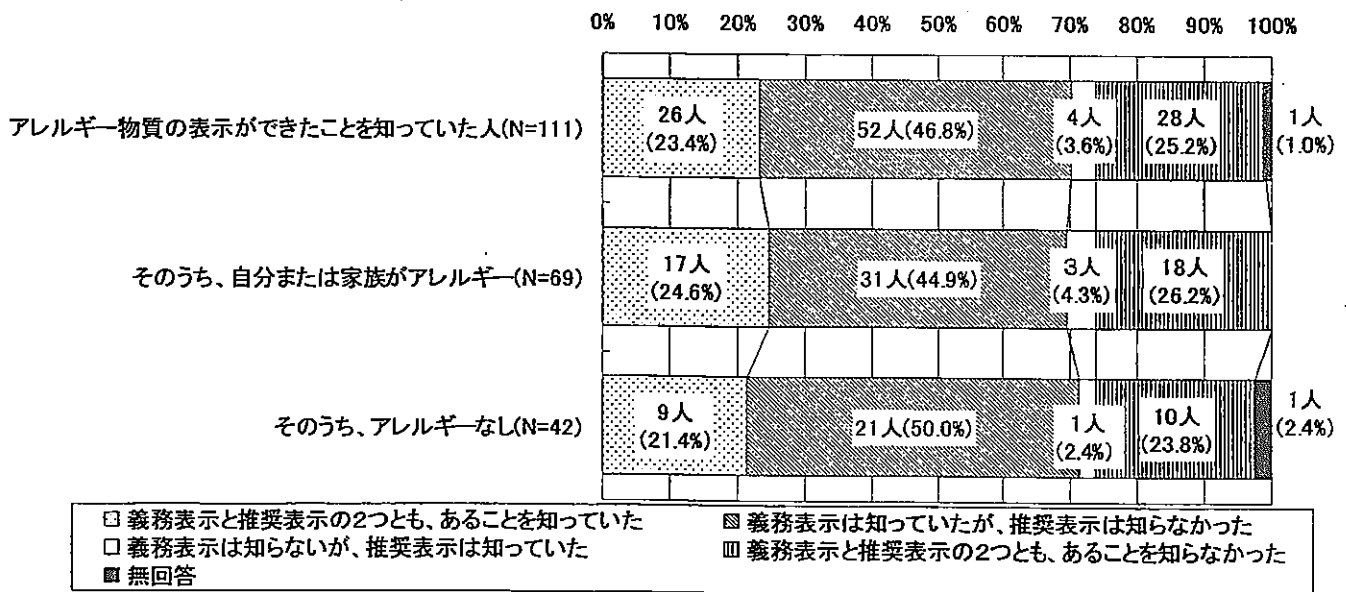


図18 食品のアレルギー物質表示の義務表示と推奨表示の認知度